

令和六年一月十四日(日)十二時半開演  
(開場十一時四十五分)

# 金春会定期能

於国立能楽堂

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷四丁目十八-1  
TEL 〇三(三四二三)一三三一(代)

## 能

ツレ 杉田浩庸  
シテ 金春憲和

## 老松

ワキ 野口能弘

大鼓 亀井洋佑 大鼓 梶谷英樹  
小鼓 幸信吾 笛 小野寺竜一

間 大藏教義

後見 横山紳一  
山井綱雄

地謡 後藤和也 高橋 忍  
渡辺慎一 金春安明  
岩間啓一郎 井上貴覚

## 狂言

## 鞍馬参り

シテ 大藏彌太郎

アド 大藏章照

後見 小梶直人

## 能 (二時二十五分頃)

シテ 本田布由樹

## 楊貴妃

ワキ 村瀬 提

大鼓 國川 純 笛 梶宅 聡  
小鼓 鳥山直也

間 吉田信海

後見 本田光洋  
本田芳樹

地謡 萩野将盛 山井綱雄  
大塚龍一郎 辻井八郎  
氷見啓明 中村昌弘

## 〈休憩二十分〉

## 能 (四時二十分頃)

ツレ 澤 翼

シテ 山中一馬

## 石橋

ワキ 野口琢弘  
連獅子

大鼓 柿原弘和 大鼓 桜井 均  
小鼓 飯田清一 笛 藤田貴寛

間 大藏基誠

後見 櫻間金記  
横山紳一

地謡 酒井 亮 本田芳樹  
柴山 暁 政木哲司  
雨宮悠大 中村昌弘

(終演予定 五時半頃)

※感染症対策について、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。  
また、演能形態が常と異なる場合がございます。

## 主催 金春会

事務所 〓168-0082 杉並区久我山五-三-二  
TEL・FAX 〇三(五三七〇)一二六六

## 〈解説〉

中司 由起子

能 **老松**（おいまつ）

北野天満宮の霊夢を蒙った梅津某（ワキ）が、従者（ワキツレ）を連れて筑紫国の安楽寺を訪れる。すると松と梅の木を守る老人（前シテ）と男（ツレ）が、早春の境内の美しさを讃えながら姿を現す。二人は菅原道真にゆかりの飛梅（紅梅殿）と老松の神木を示し、梅と松の徳を語り消え失せる。門前の男（アイ）がやって来て、飛梅と老松の伝説を語り、梅津に逗留を勧める。夜が更けると老松の神（後シテ）が現れ、御代を祝す。

松と梅のめでたさに焦点をあてた能。背景には、梅と松の木が配流の道真を慕って都から飛来した伝説があります。老松の神は「真ノ序ノ舞」を舞います。

狂言 **鞍馬参り**（くらままいり）

主人が初寅の日に太郎冠者を連れて鞍馬参りに出かける。夜、太郎冠者は多門天（毘沙門天）から「福ありの実（梨）」を授かる夢を見る。翌朝、主人がその福を無理やりに取り上げようとするので、太郎冠者は福渡しの呪文を唱えて……。

福渡しの場面は謡で表現され、明るさとめでたさにあふれています。鞍馬寺の本尊の一つは、毘沙門天です。

能 **楊貴妃**（ようきひ）

唐の玄宗皇帝の命令を受けた方士（道教の呪術師）（ワキ）が、亡くなった楊貴妃（シテ）の靈魂を探し求める。方士は常世の国蓬莱宮にたどり着き、常世の国の男（アイ）の案内で貴妃と出会う。貴妃は形見の玉のかんざしを方士に与え、皇帝と交わした永遠の愛を表す言葉「比翼の鳥、連理の枝」を出会いの証拠とするように告げて舞を舞う。方士は都に帰るが、貴妃はひとり宮にとどまる。

仙宮に寂しく住む貴妃の美しくも、哀愁漂う風情が表現されます。形見のかんざしを付けて貴妃の舞う「序ノ舞」も見どころ。金春禅竹作。

能 **石橋連獅子**（しやつきょうれんじし）

出家した大江定基は寂照法師（ワキ）と名乗り、唐国の石橋を訪れる。石橋の向かいは文殊菩薩の世界、清涼山。やがて老人（前シテ）が現れ、石橋を渡ろうとする寂昭をとどめる。老人は深い谷に架かる石橋の謂れを語り、消え失せる。仙人（アイ）が現れ石橋の有様を述べると、赤白二頭の獅子（後シテ・ツレ）が出現し、橋のたもとの牡丹に戯れつつ威勢を見せて舞う。

靈獸獅子の勇壮な舞が見どころ。習いの能として大切に扱われます。今回は小書（特別演出）での上演です。常は赤一頭の獅子ですが、今回は赤と白の二頭の獅子が登場し、親獅子と子の心で舞います。

（ T.Yoshikawa/S.Takahashi ）

### OIMATSU

The theme of this *noh* is the auspiciousness of long-life pine trees. A person with company from Kyoto visits a famous temple in northern Kyushu, and pays respect to the sacred pine tree or *matsu* and Japanese apricot tree or *ume*. These trees are the symbol of flowery, peaceful, and long life. While the man admires the trees, the spirit of the pine tree emerges, and assures the emperor's longevity.

### KURAMA MAIRI

A master takes his servant, Taro-kaja, with him to Kurama Temple to pray for a good fortune. At the temple they stay overnight while the master expects to have a good dream for his fortune. At the dawn, however, it is not the master but Taro-kaja who receives the god's blessing in his dream. The master tries to remove Taro-kaja's fortune so that it becomes his fortune. The master makes up his false dream that he was told to receive the fortune through Taro-kaja. In return for accepting the master's attempt, Taro-kaja makes his master sing and dance to entertain him.

### YO-KIHI

The Emperor Gen-so of Tang dynasty grieves over the death of his beloved lady, Yo-Kihi. He asks a Taoist who has a magic power to find where her soul is. The Taoist finally reaches at the mythical island, Horai and finds her. He tells her about the Emperor's deep grievance since her death and wants to console him with a proof of their meeting. She gives the Taoist a beautiful hair ornament but he asks something more suitable for the proof such as a private pledge with the Emperor. She then discloses the pledge, talks about good days with the Emperor, and dances before the Taoist departs.

### SHAKKYO (Renjishi)

Priest Jakusho from Japan travels around China, visiting famous Buddhist places. One day, he takes a rest by the stone bridge leading to Mt. Shoryozen, the holly place for the deity of wisdom, Monju Bosatsu. Then, a woodcutter comes and warns that it is dangerous to cross the slippery bridge over the steep valley for anyone except for the one who has been through a very hard religious practice in this place. Before disappearing, he suggests that the priest should wait here for the occurrence of something miraculous. After a while, a lion (a retainer of Monju Bosatsu) with company appears and dances vigorously among gorgeous peony flowers.

令和六年 金春会定期能	於 国立能楽堂 十二時半開演（開場十一時四十五分）
■ 三月十日(日) 知 章	中村昌弘
■ 四月七日(日) 加 茂	政本哲司
■ 六月二日(日) 花 月	本田芳樹
■ 九月八日(日) 経 政	井上貴覚
■ 十月六日(日) 実 盛	伊藤真也
■ 十一月十日(日) 清 経	森 瑞枝
■ 三 輪	梅井みづ子
■ 葵 上	高取玲子
■ 小 塩	金春康之
■ 西 行	高橋 忍
■ 采 女	金春安明
■ 六 浦	本田光洋
■ 江 口	辻井八郎
■ 海 人	佐藤俊之
■ 船 橋	山井綱雄
■ 角 田 川	櫻間右陣
■ 通 小 町	金春穂高
■ 枕 慈 童	櫻間金記
■ 海 中 舞	佐藤俊之

※出演者、曲目は都合により変更される場合がございます。あらかじめ御了承ください。

### 入場料 (Admission Fee)

■ 一 般 券 = ¥6,000  
(General Seating)

■ 25歳以下優待券(脇正面)= ¥2,500  
(Ticket for 25years old or younger-Wing )

※年齢が確認できるものを御持参下さい。

( 各自由席 General Seating )

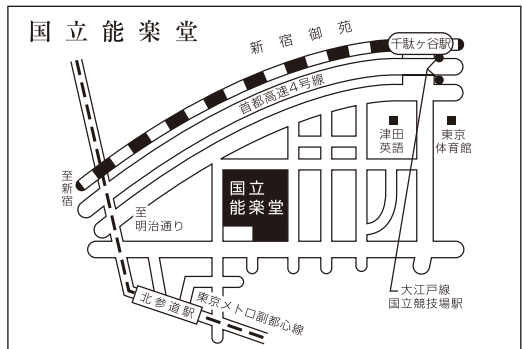
お求めは出演能楽師、国立能楽堂又は金春会事務所へ。  
※下記 Confetti (カンフェティ)でも取り扱っています。

Confetti (カンフェティ)

http://www.confetti-web.com/komparukai

☎0120-240-540 (平日10時~18時)

ご予約前に、観劇ポータルサイト「カンフェティ」への会員登録(無料)が必要となります。



### ◆ 交通のご案内

JR(総武線) 千駄ヶ谷駅下車 徒歩5分

都営地下鉄(大江戸線) 国立競技場駅下車 徒歩5分

東京メトロ(副都心線) 北参道駅下車 徒歩7分

※駐車場がございませんので車での御来場は御遠慮ください。